

# PCR検査は受けない人が受けられるように!

## 市議有志がさくらメディカル(株)から要望などをききました

26日の午前、市議有志で「さくらメディカル(株)」の幹部の人たちと懇談させていただきました。参加した市議は高田地区在住者を中心に9人です。同社の新型コロナウイルス対策の現状と課題などについて説明していただいた後、質問や意見交換をしました。介護現場でのこの間の努力、苦労、悩みなどがリアルに語られたほか、行政当局への要望も出され、とても有意義でした。

同社は本年3月2日に新型コロナウイルス対策本部を設置し、情報の一元化、同社独自の感染予防マニュアル、消毒掃除チェックリストなどを作成しました。

「社員は1人も感染させない。それがお客様にも感染させないことにつながる」という断固とした決意の下、社員はもちろんのこと、社員の家族に体温37度以上の人が出た場合は出社させない、訪問時などサービス提供にあたっては、手が痛くなるほどの徹底した手洗いを実施するなどの取組をしてきたとのことでした。

在宅サービス提供時の困ったこと、悩みとしては、「訪問時に、国が示す判断基準と利用者の体温の変化との整合性の判断が難しかった」「利用者、その家族において、ガーゼ、マスク、アルコール

消毒液が品薄のため、処置などの対応で困った」「収束が見えない中、自分のせいで在宅サービスが途切れてしまったらどうしよう、という不安があった」「感染が疑わしい人でも様子をみなさいというケースがあった。社員のなかでも医療機関を3軒くらいたらいまわしになって、親族関係のところやと診てもらった」「お医者さんには熱消毒が一番いいと言われているが、消毒については最低基準でいいのか、もう少し高めた方がいいのか事業所に任されている」ことなどがあげられました。

要望として出された主なものは、●デイケアでの入浴が中止となり、自宅で入浴しなければならなくなったが、風呂の段差など構造上の問題もあって、利用者の負担が増えた。何とかならないか。

●サービス利用者の近所の方から「自粛の中で訪問サービスをするのはいかなるものか」と言われサービスを中止せざるを得ないことがあった。市民の理解が必要だ。こういうところは、市から「心配



ないよ」と言ってもらいたい。

●PCR検査は受けない人が受けられるようにすることが求められている。

●多くの人が病院で亡くなっているが、「在宅でみとりたい」というケースもあった。PCR検査をやることで開業医さんも安心できるはずだ。……等です。

全体的にみて、PCR検査体制の強化の必要性、介護事業者、利用者への支援強化の重要性が浮き彫りになりました。



【ハナニガナ】キク科の多年草。漢字で「花苦菜」と書きます。いま、あちこちの道端で黄色い花を咲かせています。私は一度しか見たことがありませんが、たまに、白い花をさかせることがあります。花期は5月～7月です。花言葉は「明るい笑顔の下の悲しみ」「私を食べないで」「人知れぬ努力」。5月24日、吉川区小苗代にて撮影しました。

### 6月定例議会審議日程 (会議開始時間はいずれも午前10時)

月 日	会議名	場所	備考
6月2日(火)	本会議	議場	提案理由の説明 総括質疑、線香 議案委員会審査
6月3日(水)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月4日(木)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月5日(金)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月8日(月)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
6月9日(火)	一般質問	議場	
6月10日(水)	一般質問	議場	
6月11日(木)	一般質問	議場	
6月12日(金)	一般質問	議場	
6月16日(火)	本会議	議場	議案採決他

改選後初の6月議会が2日からはじまります。今議会の特徴は新型コロナウイルス対策中心の議会となることです。多くの市民から寄せられている新型コロナウイルスから市民のいのちと健康を守る課題や経済的ダメージへの支援などにどう応えていくか、行政も市議会もその力量を問われます。審議日程は左表の通りとなっています。ぜひ傍聴にお出かけ下さい。

### 6月議会は新型コロナウイルス対策中心

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1961 2020.5.31

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第六〇八回 一度は山騒ぎを

山間部で育った人間は、春になると落ちて着かなくなる。それは山が呼んでいるから。そう言つと大げさでしようか。

雪がほとんど降らなかつたことから、桜が咲くのも、草が伸びるのも今年は早く、「こりゃ、山菜も早く出るにちがいない」と思いました。

山菜のトップバッターはフキノトウです。これはわが家の屋敷周りでも出るので、今年、最初に目にしたのは隣の下中条の農道でした。一、三、三、採って母に見せたところ、「いい匂いだない。味噌汁にでもするか」と大喜びでした。正月の十一日のことです。

一番手は「ゴミミ」です。極端に雪が少なく、ひよつとすれば、三月初めに出るのでと期待したのですが、実際に出たのは三月の下旬になってから。平年並みでした。

それからひと月というものは落ち着きませんでしたね。「おまん、忙しいだろすけ」、そう言つて親戚の人などから「ゴミミやヤマウドなどを持ってきていただきまし。いずれも美味しくいただきましたが、山育ちの人間はそれだけで満足できないのです。どうしても一度は自分で山に入つて動き回り、山菜を採る、そういう山騒ぎをやらないと気持ちが悪くないのです。

今春、山に入って山菜採りができたのは、五月の連休が終わつてからとなりました。それまでずっと我慢していたのです。

山に出かけたのは五月九日の午後三時過ぎのことです。母が退院し、一段落した私は、山菜採りを実行に移すにはこの日しかないと思ひました。

目指したのは、わが家から車で一五分で着ける山間部です。ここはわが家が最後までで田んぼをやつていた所のそばで、「あそこに行けば外れはない。ひとつやふたつ、山菜があるはずだ」と思つたのです。

市道に車を止めて、歩きはじめて五〇分

ほどのところで、高さ十五メートルほどの杉の木に絡んだフジツルの白い花が目に入りまし。下から眺めると、大きいハチがたくさん飛び交い、「わーん」という音を立てていました。

さらに二百メートルほど行くと、上り坂の道と下り坂の道に分かれています。私は後者を選びました。一メートル以上生長したサイキなどをかきわけ、歩きました。

食べ頃のワラビを見つけたのは数分後です。耕作をやめて一〇年は経っている田んぼに入ると、ゴミミの葉が大きく広がっていました。その一角で、隠れるようにして二五センチほどのワラビが生えているのを発見しました。目を少し横に向けると手頃なワラビが二本、二本とありました。

こうなつたら、隠れているワラビを探すのに時間はかかりません。右を見て左を見る。ちよつと眼の位置を下げる。後ろも振り返る。あちこちでワラビをポン、ポンと折りました。こうして、ほんの五分ほどで片手では持ち切れないほどのワラビを収穫することができました。

まだ、その気になれば、もっと収穫できたのですが、私は次の山菜を探しました。カヤ(ススキ)などの草の下で遅くなつて出るウドです。どころ辺にあるかは長年の経験でわかつていました。雪消えが早かつた今年は、さすがにこうしたウドもほ

うけていました。そこで、ウドの先端部分の柔らかいところを指で折つて、持ち帰ることにしました。香りも味も小さなウドと変わらないからです。

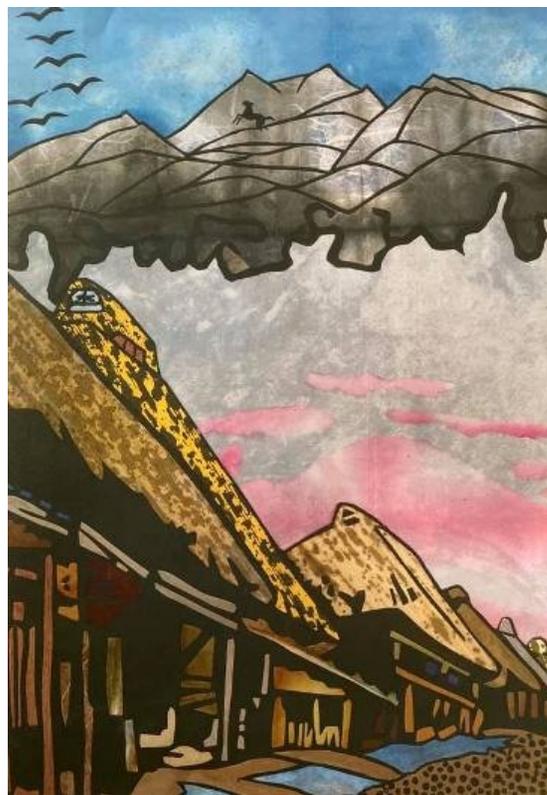
この日の収穫は、ワラビが二束分とウドの先端部分一〇個ほどです。なんだ、それきりか、と思われれるかも知れませんが、でも、採れた山菜の量の大小など、どうでもいいのです。春になつたら一度は山騒ぎをしたいという願いが叶つた、それが最大の収穫なのです。

## 妙高山の切り絵

昭和の懐かしい風景を切り絵にしている、直江津は石橋在住の西山英夫さんの作品です。

西山さんの作品は、子どもの遊び、農作業の様子、お年寄りの服装などが多いのですが、この作品にはこれまでの流れとは少し違った遊び心を感じました。バックの妙高山には「跳ね馬」も入っていました。

作品は石橋地内にある食堂喫茶「あひる」に展示されています。あなたもぜひ、一度ごらんになってください。



## 大根の実

「大根の実」をご存じでしょうか。先日、これの漬物をおいただきました。さらに、その数日後には吉川区の道の駅内の直売所で1袋100円で売っているものを入りのゆで、マヨネーズをかけて食べました。どちらも美味でした。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月20日(水)	5月27日(水)
上越南消防署	0.050	0.053
上越北消防署	0.047	0.040
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.063	0.053
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.057	0.050
名立分遣所	0.050	0.050